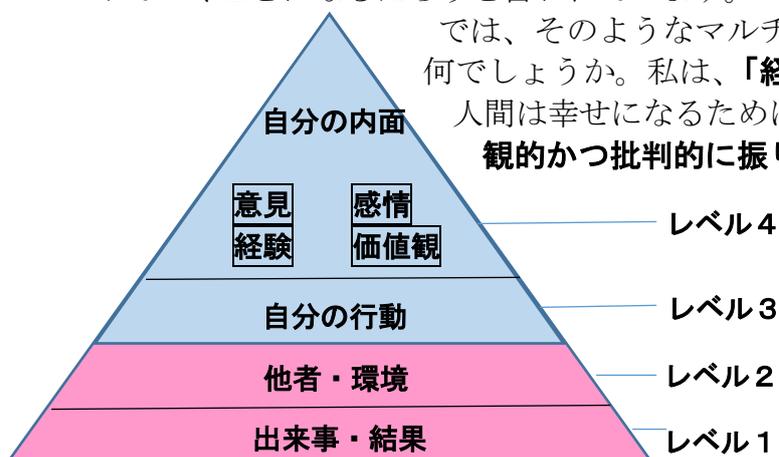


経験から学ぶリフレクション(振り返り)～反省ではなく！～

校長 森谷 優子

3月4日(月)第52回卒業証書授与式が挙行されました。式辞でも触れましたが、現在、日本人の平均寿命はどんどん延びて、現在の高1は、半数が107歳まで生きると言われています。これまでは、若いうちに教育を受けて、60歳ごろまで働き、あとは老後、という人生をほぼ全員が送っていましたが、このような考え方は少しずつ変わってきています。これからは、一人一人が違った働き方を見出し、人生のイベントの順序もそれぞれ違い、自分にとって理想的な人生を追い求めていくことになるだろうと言われています。

では、そのようなマルチステージの人生を生きていく上で大切なことは、何でしょうか。私は、「**経験から学ぶリフレクション**」だと考えています。人間は幸せになるために生きています。未来を創っていくには、**自己を客観的かつ批判的に振り返る行為が欠かせない**と考えています。オランダ



では、4歳の子どもがリフレクションをするそうです。見通し→行動→リフレクションのサイクルが身に付いており、次にやるとしたら何を変えるか、そうならないために何が大切だったのかを言語化して振り返っているそうです。左の図はリフレクションのレベルを表したものです。しかし、レベル1や2を振り返ったところ

で何も変わりません。出来事や結果だけを振り返っても、または、他者や環境に原因を求めていても、未来を変えるヒントを得ることはできません。レベル3では、**自らの行動を振り返り、結果と結びつけることで、次にとるべき行動が見えてきます**。さらにレベル4では、過去の経験に基づく成功の経験法則が通用しない時に、こうすればうまくいくはずだ、という自分の内面を振り返ります。行動の前提にある自分の考えを俯瞰し、現在の課題を生み出している自分の思考に気付くことが大切だと言われています。(参考文献：熊平美香「リフレクション」)



第52回 卒業証書授与式



左より 祝辞 新発田市市議会議長 宮崎光夫様 祝辞 P T A会長 鹿間 聖様
答辞 卒業生代表 さん 送辞 在校生代表 さん



左: 卒業合唱 指揮 さん 伴奏 さん 中央: 全校合唱 指揮 さん 伴奏 さん



最上級生となったこの1年は、自治の力をよく発揮し、東中学校をまとめてくれました。特に、星（スター）プロジェクトクラスミーティングでは、よくリーダーシップを発揮しました。これは、昨年度の虹プロジェクトミーティングを引き継ぎ、学年をこえて生徒会が主体となって、全校で取り組んだ活動です。高地生徒会長も、答辞の中で、この活動を通し、自分の考えを伝えることの大切さや、相手の思いに気づき接していくことの大切さを述べていました。さらに、3年間で、最も打ち込んだ部活動については、県内で一番練習をがんばったと胸を張って言える！共に頑張った仲間への感謝や喜び、絆の深さについて熱く語ってくれました。今後は、在校生が、卒業生の思いを引き継いでくれることと思います。たくましく成長した卒業生66名の未来に、幸多かれと心より願っています。



さあ、行こう！コミュニケーション能力UPをめざして

3月12日（火）～14日（木）、標記スローガンを掲げ、2年生が、東京・横浜・鎌倉方面に修学旅行に行ってきました。2泊3日、仲間と寝食を共にし、たくさんの思い出ができたようです。実行委員を中心に、計画・活動し、社会のルールやマナーを意識しながら、いい旅行になりました。

1日目のディズニーシーはあいにくの雨でしたが、それをも吹き飛ばす元気でした。

2日目の鎌倉・横浜方面の班別研修では、それぞれの班が立てたプランで、8時半に、浅草ビューホテルを出発し、18時に元町・中華街駅付近にある人形の家に集合しました。私は、17時半頃から、地下鉄の出口付近で待っていましたが、18時近くにやってきた班は、知っている人の顔を見てほっとしたのでしょうか。「先生~~~~、大好き~~~~」と言いながら、かけ上がってきました。晩御飯の飲茶のおいしかったこと、なんと完食しました。

3日目のバスの中での振り返りでは、「外国人がたくさんいて、英語で対応している人がかっこよかった」「普段、話さない人とも話せて、みんなで協力できた」「新潟との違いがすごかった」「男子が電車の乗り方を教えてくれて仲良くなった」「ディズニーシーは雨だったけど、みんなと行けてよかった」「街が刺激的だったので、また来たい」など、一人一人が、自分の言葉で話していました。また一つ、大きく成長することができたようです。



職員の退職・転出について

令和6年度末の人事異動により、7名の教職員が退職・転出いたします。
在職期間中、大変お世話になりました。



校長 森谷 優子先生（胎内市立中条中学校へ）

出会った生徒のみなさん、保護者の方々、地域の方々、そして教職員のみなさんと東中学校で過ごした日々は、本当に楽しい毎日でした。赴任して2年、まだまだ東中にいたい気持ちでいっぱいですが、新たな場所へ旅立つことになりました。でも、隣の街から、ずっとずっと東中にエールを送っています。お世話になった皆様に、万感の思いを込め、心から感謝申し上げます。

教頭 小野 俊巳先生（聖籠町立山倉小学校へ）

4年間お世話になりました。素直で明るい生徒たちに囲まれて、本当に楽しく過ごすことができました。3年生と高校1年生については、3年間の成長を見届けさせていただきました。本音を言えば、1年生と2年生の卒業を見届けたかったなと思っています。これからの東中の益々の発展をお祈りしています。保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

3学年主任 羽田 令子先生（新発田市立七葉中学校へ）

5年間お世話になりました。素直で明るい生徒たちと本当に楽しく過ごすことができました。この5年間で2回、学級担任をした生徒を送り出し、また、陸上競技部を担当させていただきました。東中を巣立った皆さん、そしてこれからの東中を支える皆さんが次のステージで大活躍することを期待しています。保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

3年1組担任 田中 正朗先生（新発田市立猿橋中学校へ）

6年間大変お世話になりました。日々の生活の中で、私はいつもたくさんの「元気」を皆さんから分けてもらいました。何気なく交わす会話は、私の生活エネルギーでした。こうした生徒や保護者の皆様の支えがあればこそ、クラス担任や部活動の卓球部顧問としての仕事がこなせたのだと思います。東中に関わる全ての方々に心よりの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

サポートルーム1組担任 高橋 悠斗先生（上越市立大潟町中学校へ）

3年間、お世話になりました。この学校に赴任してから、明るく元気な生徒たちと、温かい保護者の皆様のおかげで教員として成長することができました。東中学校で学んだことを忘れずに、次の学校でも頑張ります。本当にありがとうございました。

技術科担当 荒木 透先生

1年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。

週に1回しかない授業を、皆さんは本当に一生懸命取り組んでくれました。また、授業以外でも話をしたり、体育館で一緒に遊んだりすることがとても楽しみでした。

自信をもち、精一杯中学校生活を送ってください。今までありがとうございました。

用務手 後藤 浩さん（退職）

1年という短い間でしたが、大変お世話になりました。学校での勤務は初めてでしたが、元気な東中のみなさんに元気をもらい、楽しく働くことができました。自分の母校は、少し遠いところにあり、東中が母校のように思えてなりませんでした。これからの東中のみなさんの活躍を心より祈っています。本当にありがとうございました。

教育委員会より連絡があり、新年度より、東中学校区のスクールバスの業者が、すべてシティ・バスと新発田市のバスに変更になるそうです。ご理解いただきますようお願いいたします。